



平成22年4月27日

各 位

上場会社名 マツダ株式会社
代表者 代表取締役社長 山内 孝
(コード番号 7261)
問合せ先責任者 財務本部 経理部長 前田 真二
(TEL 082-282-1111)

特別損失の計上に関するお知らせ

平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の連結決算及び個別決算におきまして、下記の特別損失を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結決算における特別損失の内容

①関係会社事業損失引当金繰入額 5,862 百万円

海外関係会社の事業に伴う損失に備えるため、当社が負担することとなる損失見込額を算定し、関係会社事業損失引当金繰入額 5,862 百万円を特別損失として計上しました。

②環境対策引当金繰入額 1,464 百万円

PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の処理に関わる費用を合理的に見積もることが可能となったため、その処理費用の支出見込額を算定し、環境対策引当金 1,464 百万円を特別損失として計上しました。

2. 個別決算における特別損失の内容

①関係会社株式評価損 17,541 百万円

当社が保有する関係会社株式のうち、当社の帳簿価額に対して当該関係会社の純資産が著しく下落し、その回復があると認められない海外関係会社の株式について減損処理(29,288 百万円)を実施し、前期に引当計上しております関係会社事業損失引当金(11,747 百万円)を充当した結果、関係会社株式評価損 17,541 百万円を特別損失として計上しました。

②関係会社事業損失引当金繰入額 11,827 百万円

海外関係会社の事業に伴う損失に備えるため、当社が負担することとなる損失見込額を算定し、関係会社事業損失引当金繰入額 11,827 百万円を特別損失として計上しました。

③環境対策引当金繰入額 1,427 百万円

PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の処理に関わる費用を合理的に見積もることが可能となったため、その処理費用の支出見込額を算定し、環境対策引当金 1,427 百万円を特別損失として計上しました。

3. 業績への影響

上記の特別損失は、本日発表の平成22年3月期決算短信の財務諸表に反映されております。

以 上